



私たちは、未来へつなぐ「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。

グループ社会貢献活動 「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」

【エキ・リテール・サービス阪急阪神】

## 「自分だけのオリジナルミックスジュースを作ろう！」 好きな材料でフレッシュジュースづくりに挑戦

夏休みの小学生に様々な体験学習プログラムを提供する「阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊」。7年目となる今年は40以上のプログラムを用意し、多くの子どもたちが参加しました。エキ・リテール・サービス阪急阪神では、新鮮な果物・野菜を使用した砂糖不使用の生ジュース店「ジュースデリ マメカ」による「オリジナルミックスジュースづくり体験」を企画し、12名の小学生がジュースづくりに挑戦しました。



このプログラムは、子どもたちが食材を組み合わせてジュースをつくり、商品名を考えてポスターまで作成するというもの。砂糖を使用せず生の果物と野菜を使った「フレッシュジュース」に親しみを持つことをはじめ、食育の観点から食材そのものに興味を抱いたり、食材を扱うときは衛生面に注意することを知ったりすること等が本プログラムの狙いです。

当日は子どもたちにできるだけたくさんの果物と野菜に触れ合ってもらおうと15種類を用意。デモンストレー

ションでスタッフが目の前で果物をまるごとカットすると、子どもたちはその様子を真剣なまなざしで見つめていました。実際にジュースをつくるときには、食材の掛け合わせについて積極的にスタッフに質問したり、思いもよらない組み合わせを考えたりして、思い思いにつくりあげたジュースをみんなおいしそうに飲み干していました。家庭ではなかなか実践することが難しい、複数の果物と野菜を使ったミックスジュースづくり。食材や衛生についても学ぶことができ、実りある取組となりました。

発行： 阪急阪神ホールディングス株式会社 〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号  
TEL:06-6373-5100 FAX:06-6373-5670

株主様のご意見・ご感想をお待ちしております。  
<http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/contact/>



この印刷物は、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用しているFSC® 認証紙を使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

# HANKYU HANSHIN Letter

株主通信  
Vol. 32  
2016年12月発行

## トップメッセージ 中期経営計画を着実に実行し、 持続的な成長を目指します



特集 1 hanica定期券相互利用スタート

特集 2 阪神電気鉄道「5700系」(ジェット・シルバー5700)車両が、  
ブルーリボン賞を受賞

特集 3 ロボットプログラミング教室「プログラボ」

## 中期経営計画を着実に実行し、 持続的な成長を目指します

株主の皆様には、平素から格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。2016年度の第2四半期連結決算について、ご報告申し上げます。

阪急阪神ホールディングス株式会社  
代表取締役社長

角 和 夫

### 事業環境と業績

## 第2四半期は前年同期比で 増収・増益に

わが国経済は、雇用情勢の改善が見られたものの、世界経済の下振れリスクへの懸念等があり、先行き不透明な状況が続きました。

このような中、当社グループでは中期経営計画に掲げる目標を達成すべく、グループ経営機能を担う当社の下、中核会社を中心として、各コア事業の競争力強化を図るとともに、コア事業間の連携を通じてグループ総合力の発揮に努めました。その結果、不動産事業において賃貸事業が堅調に推移したことや、エンタテインメント・コミュニケーション事業において阪神タイガースの公式戦の入場人員が増加したこと等により、営業収益、営業利益、経常利益はいずれも増加しました。また、特別損益が改善したこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益も増加しました。

### セグメント別の業績概況

## 不動産事業、エンタテインメント・コミュニケーション事業が好調

セグメント別にみると、まず都市交通事業では、連結子会社1社が持分法適用関連会社となった影響があったものの、バス事業において阪神バスが尼崎市交通局から市営バスの全路線を譲り受けたこと等により、営業収益は前年同期並みとなり、営業利益は、鉄道事業の動力費が減少したこと等により増益となりました。また、不動産事業では、梅田地区の賃貸ビルが堅調に推移したことや、宅地・戸建の分譲区画数が増加したこと等により、増収・増益となりました。エンタテインメント・コミュニケーション事業では、阪神タイガースの公式戦の入場人員が増加したことや、インターネットスポーツ中継サイトへのライブ配信を開始したこと等により、増収・増益となりました。

一方、旅行事業は、オセアニアやアジア、四国お遍路等の集客が好調であったものの、国際情勢の悪化や熊本地震の影響を受け、厳しい状況が続きました。国際輸送事業では、海外法人において、東アジア・アセアンは海上輸出を中心に堅調に推移したものの、米州・欧州は航空輸送が低調に推移し、また為替変動により円換算額が減少したことに加えて、日本法人においても、物流需要の落ちみに伴い航空輸送が伸び悩んだこと等により、減収・減益となりました。また、ホテル事業では、ホテル外でのレストラン等の運営を一部取り止めたことや、婚礼宴会部門が低調に推移したこと等により、減収・減益となりました。

### 通期の業績見込み

## グループの力を結集し、企業価値のさらなる向上を

通期の業績については、スポーツ及びステージ事業が好調に推移するとともに、鉄道事業において動力費等の減少を見込むこと等により、前回発表時から営業利益の水準を970億円と上方修正しています。

これから先、国内の人口減少や技術革新、インバウンド需要の拡大など様々な環境変化が予想されますが、引き続きお客様の期待に応えられる企業

グループでありたいと考えております。現在、10年程度先を見据えたグループの長期ビジョンを策定しており、今後も、グループの力を結集して、将来に向けて持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# より身近なお客様の生活の足に hanica定期券相互利用スタート

阪急バスと阪神バスは、ICカード「hanica」の定期券を両社の路線バスで相互利用できるサービスを2016年2月から開始しました。このサービスを導入したことにより、利用エリアの拡大など利便性が向上し、双方のバスを利用するお客様が増えており、両社のバス事業エリア内の競争力がより高まっています。また、今後、公共交通のさらなる利用促進につながることを期待されています。

## 乗り降り便利なICカード「hanica」

「hanica」は阪急バスと阪神バスで利用できるプリペイド式のICカードとして2012年4月に誕生しました。小銭を用意することなく端末にタッチするだけで乗り降りできる手軽さや利便性が評価され、ご利用は着実に増えていきました。

その後「hanica」は、'13年3月（阪神バスは'14年2月）に65歳以上の方が利用されるフリー定期券「グランドパス65」に、さらに'14年6月には、通勤・通学の定期券にも利用範囲を拡大。そして、この度のhanica定期券の阪急バス、阪神バスの相互利用サービスを導入することにより、両社の路線で定期利用が可能となりました。



「hanica」



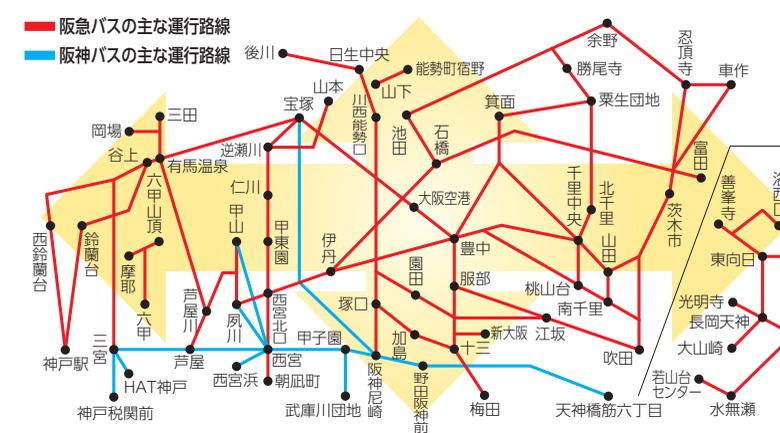
### 阪急バス株式会社

阪急電鉄・能勢電鉄・北大阪急行電鉄等の沿線を走る路線バスのほか、高速バス等も運行しています。

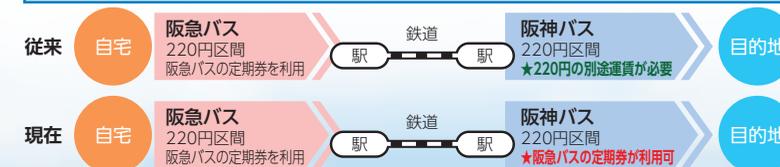
## hanica定期券の相互利用で広がるネットワーク

阪急バスと阪神バス間での利用をより便利にしたhanica定期券の相互利用サービス。それまではバス会社ごとに定期券を購入・使用しなければなりませんでした。本サービスの導入により、同一運賃区間であれば1枚の定期券で双方のバスを利用できるようになりました。

さらに、尼崎市営バスの全路線が阪神バスに移譲された現在、阪神間の幅広いエリアで、阪急バス・阪神バス両社の路線を面的なネットワークとして利用することが可能となり、お客様の利便性の向上とともに乗車機会の拡大にもつながっています。



hanica定期券相互利用のイメージ(例: 阪急バスのhanica220円定期券を持っている場合)



### 阪神バス株式会社

尼崎市、西宮市を中心に大阪から神戸にかけての阪神間をカバーする路線バスのほか、空港リムジンバス、中国・四国地方への高速バス等も運行しています。

# 尼崎市営バスの全路線を譲受

阪神バスでは2016年3月20日、尼崎市営バスの全29路線を譲り受け、新たに阪神バス（尼崎市内線）として運行を開始しました。阪急バスと一体となってサービスを提供し、地域に密着したバス会社へと進化していきます。

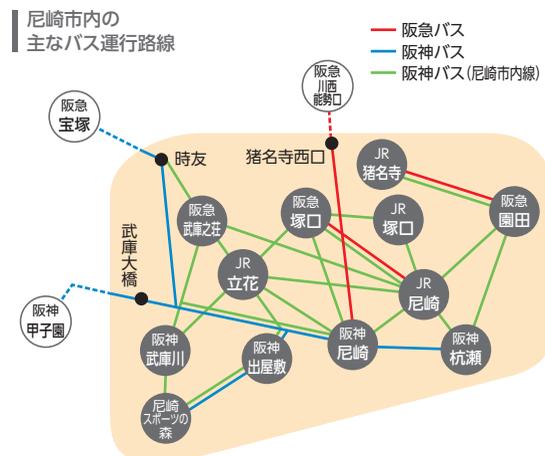
## 市営バス事業の譲受に向けて

尼崎市内の路線バスは、阪神バス、阪急バス、尼崎市営バスの3者がそれぞれ路線の特徴を持ちながらサービスを展開し、充実したバス路線を形成していました。そうした中、今般、尼崎市から市営バス事業の移譲の意向を受け、阪神バスでは市民の足としての公共交通を守るという使命を果たすことはもとより、グループの強みを活かすことで市民の利便性向上のお役に立ちたいとの思いから、阪急バス・阪神バスによるhanicaを活用した一体的な運営と、効率的かつ効果的な施策を通じたサービス水準のさらなる向上を同市に提案しました。その結果、同事業の移譲を受ける事業者として採択されました。

## お客様の利便性向上のために

事業譲受にあたり、3つのバス事業者の運賃のシームレス化は課題の一つでしたが、既に阪急バスと阪神バスとでhanicaの共通利用を実現していたこと、そしてhanica定期券の相互利用の導入を検討していたことは、譲受に向けて大きなアドバンテージでした。事業譲受後3年間は、尼崎市営バスがそ

れまで実施していた運賃や路線などのサービス水準を維持することが求められていることから、この3年間でしっかりと利用状況等を分析し、民間企業ならではの視点でさらなる利便性の向上や経営の効率化等に向けて検討を進めていきます。



Voice

## お客様の安全を守りながら、さらなるサービス向上を目指して



阪急バス株式会社  
自動車事業部  
部長 野津 俊明

阪急バスでは、「ひととまちに優しい阪急バス」を企業理念に掲げ、沿線にお住まいのより多くのお客様にご利用いただけるよう、日頃から安全の確保と、サービスの向上に取り組んでいます。特に安全については、乗務員に対して日々の業務の中で注意喚起し、お客様に安心してご乗車いただくことが最大のサービスと捉えて取り組んでいます。

阪急と阪神の経営統合により、お互いが両鉄道の主要駅に乗り入れる路線を設けるなど、お客様の利便性をこれまで以上に考えた路線が組めるようになりました。また、今年3月には、リアルタイムな運行状況のほか、乗車する停留所や降車停留所までのバス到着予想時刻をお客様のスマートフォンなどでご確認いただけるバスロケーションサービスを京都地区より開始しました。今後は、阪神バスとも連携して、その対象エリアを順次拡大させ、バス利用の利便性向上とご乗車機会の創出へとつなげていき、阪急バス・阪神バス沿線に住んでよかった、未永く住み続けたいと思っただけのように努めてまいります。



阪神バス株式会社  
業務部  
部長 野口 一行

超高齢化社会の到来や将来的な沿線人口の減少など、バス事業を取り巻く環境は厳しさを増しつつありますが、お客様のニーズを捉えながら路線やダイヤを見直し、お客様のご利用機会を創出していくことが重要だと考えています。

その前提にあるのが安全な運行です。今年度は「お客様に安全で快適なサービスを」を行動指針に掲げ、あらためて運転士への研修を強化しています。そして、車内アナウンスをはじめお客様へのお声掛けなど、接遇の向上についても徹底しているところです。

阪急・阪神の経営統合以降、阪急バスとは「阪急・阪神 バス共通カード」の発売を皮切りに、競合していたエリアでもお互いに補完・協力し合う関係を構築してきました。その一つの集大成が今般のhanica定期券の相互利用です。これによりhanica定期券の利用範囲は、譲り受けた尼崎市営バスの全路線を含め、京阪神の幅広いエリアに広がりました。今後も、継続的にサービスの見直しを図り、お客様の利便性の向上と経営の効率化を両立させていきたいと考えています。

### サービス維持 ・ 向上の事例



譲受前に尼崎市営バスの路線でのみ利用できた磁気回数カードは、引き続き阪神バスの尼崎市内線で利用できるよう整備しました。



お客様に混乱が生じないよう譲受後も尼崎市営バスの車両を使い続けているため、お客様には従来どおりご利用いただいています。



「高齢者特別乗車証」については、従前の紙式の乗車券をIC化するとともに、阪神バス・阪急バスの路線でも利用できるようにしました。

# 阪神電気鉄道「5700系」 (ジェット・シルバー5700) 車両が、 ブルーリボン賞を受賞



阪神電気鉄道の新型普通車両「5700系」が、同社の車両としては初めて鉄道友の会が選定する「2016年ブルーリボン賞」を受賞しました。

阪神電車の普通車両は昔から高い加減速という伝統的性能を有していますが、それを受け継ぎつつ、最新技術を導入した「5700系」。コンセプトである

「人へのやさしさ」と「地球へのやさしさ」を追求し開発したことが高く評価されました。

なお、当該車両は、10月から同賞の受賞を記念して、受賞記念ステッカー仕様のラッピングをして運転しています（2017年春までを予定）。

## ブルーリボン賞とローレル賞

鉄道友の会が、毎年1回、その前年に日本国内で営業運転を正式に開始した新造および改造車両の中から選定し、利便性や快適性・環境対応・新技術の有効活用などを評価し、2つの賞を選定しています。

「ブルーリボン賞」は、全会員の投票結果に基づき、選考委員会が利便性や快適性・環境対応・新技術の有効活用などを評価し、最優秀と認めた車両に対し贈られる賞で、1958年に制定。

「ローレル賞」は、全会員の投票結果を参考にして、選考委員会が審議して優秀と認めた車両に対し贈られる賞で、1961年に制定。

●鉄道友の会…鉄道知識を広く普及し、鉄道趣味を通じて会員相互の親睦を深め、鉄道の愛護および発展に寄与することを目的に、1953年に創立された鉄道愛好者の団体です。

### 当社グループにおける受賞歴

#### ブルーリボン賞



阪急電鉄「6300系」  
(1976年)



北大阪急行  
「8000系（ポールスター）」  
(1987年)

#### ローレル賞



阪急電鉄「2000系・2300系」  
なお、同賞が制定された  
1回目の受賞です（1961年）。

## ジェット・シルバー 5700



### 「人へのやさしさ」

安全・快適を追求した車内空間



1 つり革・握り棒の増設  
(従来より16%増設)。



2 ドア上部の案内表示画面  
は4カ国語対応。



3 立つ人には腰当てに、  
座る人には肘当てにな  
るよう、カーブを施し  
た仕切り板を設置。



4 全車両に車椅子兼ベビ  
ーカースペースを設置するほ  
か、優先座席部はグリーン  
の配色にして明確に。



### 「地球へのやさしさ」

最新の環境技術の導入

#### 1 全照明をLED化

客室内の照明、前照灯、標識灯などをLED化し、車外の行先表示器もフルカラーLEDを採用。

#### 2 扉開閉ボタンの設置

普通車両は、特急や急行の通過待ちで長時間停車することが多いため、ドアごとに、扉開閉ボタンを設置。お客様に扉の開閉を行っていただくことで、車内の保冷・保温性が向上し、省エネにつながります。



#### 3 高効率主電動機の採用

高加速・高減速を繰り返しながら走る普通車両は、一般的に多くの電気を使用。そのため環境性能に優れた高効率の全閉自冷式永久磁石同期電動機を採用することで、より大きな省エネ効果を生んでいます。

# 子どもたちに必要な論理的思考力や問題解決能力、創造力が養える ロボットプログラミング教室「プログラボ」

当社グループは「沿線価値の向上」に向けて「次世代育成」をテーマの一つに掲げていますが、阪神電気鉄道では、その取組の一つとして子ども向け「ロボットプログラミング教育事業」を開始しました。その教室の名前は「プログラボ」。1号教室『夙川校』に続き、今年4月に『野田阪神校』を、さらに10月には『高槻校』、『千里中央校』を順次開校。小学生を中心にプログラミングを学んでいます。

## 教室の名前「プログラボ」とは？

「プログラミング」と、目標に向かって進むことを意味する「プログレス」、実験室や研究室を意味する「ラボラトリー」を掛け合わせ、「夢を持つ仲間が集い、切磋琢磨する場を創っていきたい」という願いが込められています。



## プログラミングを通じて「考え創造する楽しさ」を共有してほしい

—— 子ども一人ひとりに寄り添い、「学べる沿線」をつくる

プログラミング教育は、論理的思考力や問題解決能力などが身に付くことから、昨今、世界各国で導入されており、日本でも、小学校におけるプログラミング教育の必修化が決まる（2020年から導入予定）など、これからの社会を担う子どもたちに必要な素養となりつつあります。

「プログラボ」では、ITスキルを教えるだけでなく、子どもたちの可能性を最大限に引き出せるように、一人ひとりの顔をしっかりと見て、子どもたちが失敗しても「自分で問題を解決」し、「最後までやり抜く」ことができるよう見守りながらプログラミングを指導

しています。子どもたちは自由な発想でロボットとプログラムを組み立てて、時間を忘れて夢中で課題に取り組み、何度失敗しても諦めずに挑戦し続ける強い気持ちや、仲間と協力して助け合う心などを学んでいます。

今後は、指導者の育成にも力を入れ、阪急・阪神沿線を中心に順次教室を増やしていく予定です。プログラミングを一部の子どもたちだけの習い事ではなく、「プログラボ」を通じて、「学びたいときに学べる場所がある」という文化を阪急・阪神沿線に根付かせていけるよう取り組んでいきます。

## プログラボってどんな場所？

「プログラボ」は、子どもたちが夢中になって、プログラミングを学び、夢を実現する力を身に付ける場。社会にイノベーションを起こせる子どもの育成を目指しています。

1人1台「教育版レゴ® マインドストーム® EV3」が教材として貸し出されます。



## 授業の流れ

授業は3回1セット。毎回与えられる課題をクリアするロボットとプログラムを作成し、皆の前で発表することを通じて、科学技術の知識とプレゼンテーション能力を鍛えます。

### 1 課題の出題

地球から火星に向かう火星探査ロボットを作ろう！



### 2 プログラミング

PCタブレット端末で簡単な命令を組み合わせてプログラミングし、その通りにロボットが動くかどうかを検証。

### 3 発表

どんなプログラムを組んだのかをそれぞれ発表。

## 目標

WRO※への出場を目指します。

※World Robot Olympiadの略。自律型ロボットによる国際的な競技会で、2004年のシンガポール大会から始まり、'15年はカタールの首都ドーハで開催されました。

方向を変えるには？  
線の上を走らせるには？



かべを見つけたら止まるように…



## 身に付く力

1. 筋道を立てて考える力
2. 物事を深く考える力
3. 最後までやり抜く力

+ 仲間との協力

将来、自身の夢を実現できるようにすることを  
目指します。

## お問い合わせ先

プログラボ教育事業運営委員会

〒553-8553 大阪市福島区海老江1-1-24 阪神電気鉄道内

TEL. 06-6457-2436 (平日 8:45~17:30)

URL. <http://www.proglab.education/>

# 歴史探訪

～阪急阪神沿線を訪ねて～

## 雅やかな平安文化が花開き文化・経済の中心へ

794年に長岡京から平安京に遷都され、都として長く歴史を育んだ「京都」。この街は、王城都市の都市計画「条坊制」によって通りが碁盤の目のように並び、条坊名から通り名が付けられている。

平安時代、都に住む貴族たちは装飾に贅を尽くしており、また豊富な地下水脈の恩恵も受けて染織業が盛んになった。伝統工芸や芸能も確立され、雅やかな平安文化が花開き、また江戸時代には商業の中心地ともなり経済的にも繁栄した。

## 多彩な表情を持つ京都の中心部河原町～烏丸エリア

1963年、京阪神急行電鉄（現・阪急電鉄）京都本線は、終点であった大宮駅から路線を延伸し、烏丸駅と河原町駅を新設した。そして今、河原町

界隈は、コトクロス 阪急河原町や高島屋、大丸、丸井などのファッションを中心としたトレンドの発信拠点となり、また「京都の台所」と呼ばれる錦市場があり、賑わいを見せている。さらに、官公庁や金融機関もあり、京都経済の中心でもある。

一方、艶やかな舞妓が行き交う花街・祇園、先斗町。若者に人気の繁華街・木屋町。そして、ゆるやかに流れる鴨川。

河原町・烏丸は、利便性と活気、はんなりとした京情緒、心和む自然の



錦市場

風景、それらが集約されたエリアである。

## 世界に誇れるKYOTOで和の風情を守り、楽しむ

住宅地として人気が高いエリアもある。「五山の送り火」で火が灯される山の麓に位置する閑静な住宅地の北山エリア。北山通りには、有名な洋菓子店やおしゃれなカフェなどが軒を連ね、京都府立植物園の豊かな自然とも調和し、気品が漂う。

一方、河原町南東エリアには、間口が狭く細長い建物が特徴の京町家を



先斗町

改装した住宅や宿泊施設が多く点在する。京町家は、建物内の中庭などから自然光を採り入れ、夏は打ち水をすることで涼しさを感じることができる省エネルギー住宅としても再評価されている。京都市では2007年に「新景観政策」を導入し、風情ある街並みを守るために建築物の高さやデザインを規制されている。活気に満ちた大通りから少し入れば、風情ある路地に京町家が佇み、京都情緒が残っている。今後も世界に誇れるこの美しい景観は受け継がれていくであろう。

## 動く美術館といわれる山鉾が見もの「祇園祭」

京都の祇園祭は、東京の神田祭、大阪の天神祭と並んで「日本三大祭」の一つ。毎年7月に四条通り一円で繰り広げられる夏の風物詩です。約1100年前の平安時代に疫病が流行したとき、災厄をもたらす疫神を鎮めるために鉾を立てて神輿を神泉苑に送ったことがはじまり。7月に入ると各鉾町で「コンチキチン」と祇園囃子が鳴り響き、17日の山鉾巡行は多くの見物客で賑わいます。

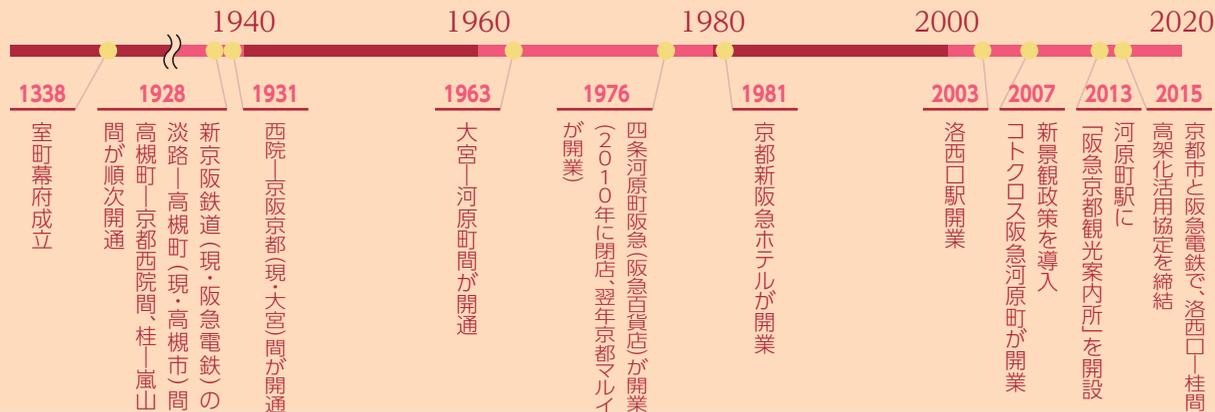


日本古来に都として栄えた京都。歴史深いこの街は、世界に名だたる国際的な観光都市として、

# 京 -kyo to- 都

国内だけでなく海外からも連日多くの旅行者が訪れ、賑わっています。

## 〈京都の変遷〉

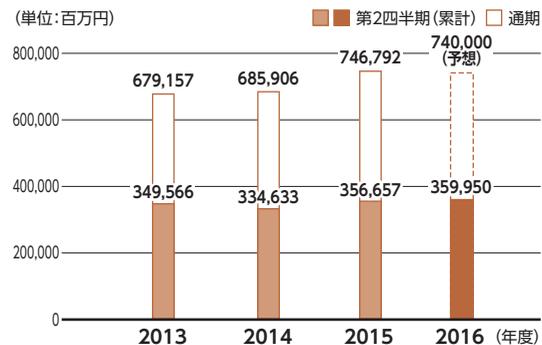


コトクロス阪急河原町



鴨川

営業収益

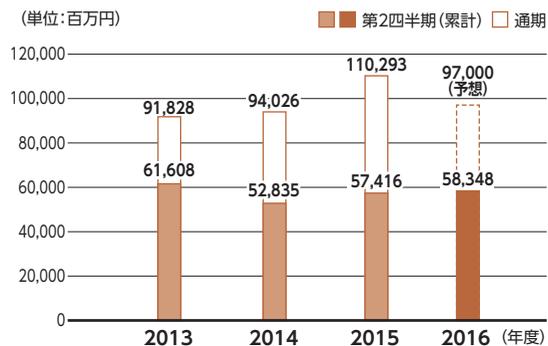


**3,599億50百万円**  
(前期比0.9%増)



不動産事業において賃貸事業が堅調に推移したことや、エンタテインメント・コミュニケーション事業において阪神タイガースの公式戦の入場人員が増加したこと等により、営業収益は3,599億50百万円と前年同期比0.9%の増収、営業利益は583億48百万円と同1.6%の増益となりました。

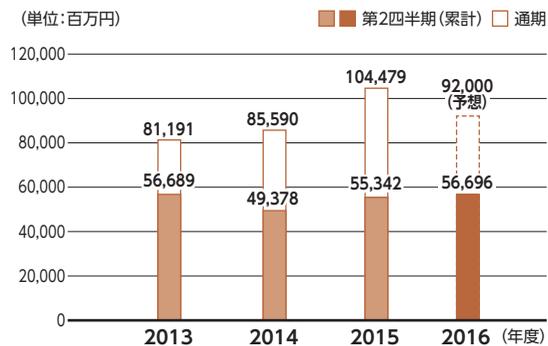
営業利益



**583億48百万円**  
(前期比1.6%増)



経常利益



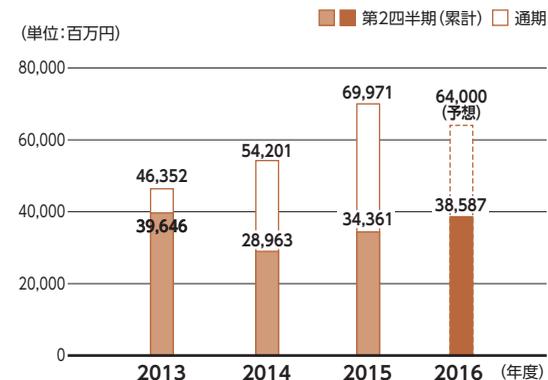
**566億96百万円**  
(前期比2.4%増)



営業利益が増加したこと等に伴い、経常利益も566億96百万円と前年同期比2.4%の増益となりました。第2四半期としては過去最高の実績となりました。

※2016年度より、国際輸送事業の輸出混載貨物に係る取引等について、営業収益の計上方法を純額表示から総額表示に変更しております。この変更に伴い、2015年度については、総額表示に遡及修正しておりますが、2013年度・2014年度については、純額表示となっております。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

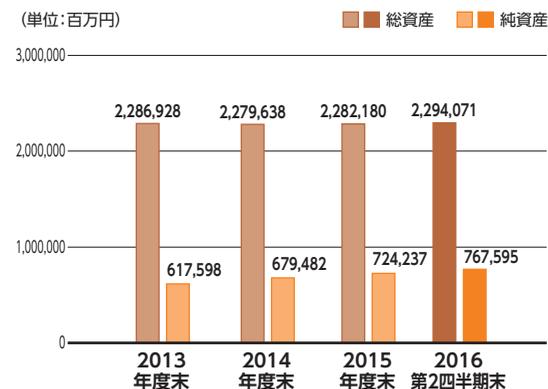


**385億87百万円**  
(前期比12.3%増)



特別損益が改善したこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益も385億87百万円と前年同期比12.3%の増益となりました。

総資産・純資産



**総資産 2兆2,940億71百万円**  
(前期末比118億91百万円増)



**純資産 7,675億95百万円**  
(前期末比433億57百万円増)



総資産は、有形固定資産が増加したこと等により2兆2,940億71百万円となりました。純資産は、利益剰余金が増加したこと等により7,675億95百万円となりました。

1株当たり情報

科目	2013年度第2四半期	2014年度第2四半期	2015年度第2四半期	2016年度第2四半期
1株当たり四半期純利益(円)	31.44	22.96	136.28	154.14
科目	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度第2四半期末
1株当たり純資産(円)	477.69	525.56	2,815.96	3,004.77
自己資本比率(%)	26.3	29.1	31.0	32.7

※2016年8月1日を効力発生日として株式併合(5株を1株に併合)を実施しましたが、2015年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益、1株当たり純資産を算定しております。

## 当社グループの多彩なサービスを無料・優待価格で



**グループ優待券の主な内容** ※グループ優待券のご利用範囲については券面をご参照下さい。  
 なお、ご優待内容や対象施設については、予告なく変更する場合がございますので、ご了承下さい。

### 旅行割引券



香港 夜景

### 施設入場券 (六甲山上レジャー施設など)



六甲山スノーパーク

六甲ガーデンテラス

六甲オルゴールミュージアム

### ホテル宿泊・飲食割引券



ホテル阪神

### 甲子園歴史館 入館引換券



(2016年12月現在)

優待内容	株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)	株主優待乗車証 (全線バス)	グループ 優待券
優待 基準株数			
100~199	2回カード×1枚 (2回乗車分)	—	1冊
200~479	4回カード×1枚 (4回乗車分)	—	
480~999	4回カード×3枚 (12回乗車分)	—	
1,000~1,999	25回カード×1枚 (25回乗車分)	—	
2,000~6,199	30回カード×2枚 (60回乗車分)	—	
6,200~9,799 ※①②のいずれかを選択	① 30回カード×2枚 (60回乗車分) ② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線バス1枚	
9,800~15,999 ※①②のいずれかを選択	① 10回カード×1枚 (10回乗車分) ② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線バス1枚 阪神電車全線バス1枚	
16,000~199,999	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線バス1枚 + 阪神電車全線バス1枚	
20万以上	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線バス10枚 + 阪神電車全線バス10枚	

### 株主優待乗車証 (全線バス)



- ・阪急電車全線バスの適用区間：阪急電車線全線 (神戸高速線を除く)
- ・阪神電車全線バスの適用区間：阪神電車線全線 (神戸高速線を除く)

### 株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)



共通回数カードの適用区間：阪急電車線及び阪神電車線全線 (いずれも神戸高速線を除く)

株主優待については、9月30日、3月31日の株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送します。

### 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

利益配分につきましては、中長期的な成長に向けて新たな経営のステージに移行する中で、業績が安定的に推移していること、また財務体質の改善が着実に進捗していることを踏まえ、株主の皆様への利益還元の充実を図るため、2015年度利益の配分から1株当たりの配当金を7円に引き上げています。同時に、総還元性向(親会社株主に帰属する当期純利益に対する年間配当金総額と自己株式取得額の合計額の割合)25%を株主還元の指標と位置付け、安定的な配当の実施と自己株式の取得に取り組んでいくこととしています。

上記の考え方に基づき、2016年度の年間配当金につきましては、2016年8月1日を効力発生日とする株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施したことから、1株当たり35円を予定しており、利益還元をより適時に行うため、この度、1株当たり17.5円の間配当を実施しました。なお期末には1株当たり17.5円の配当を実施する予定です。また、内部留保資金の用途につきましては、各コア事業の競争力強化を図るための資金需要に備えるとともに、財務体質の強化に充てていきます。

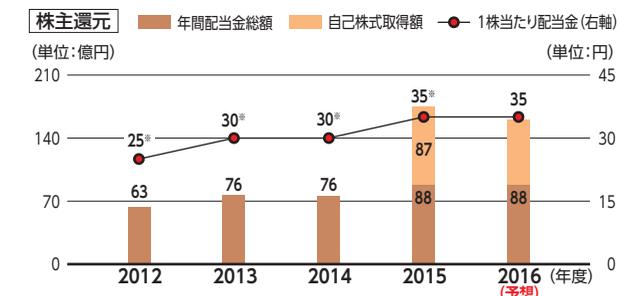
(参考) 総還元性向の算出方法

$$n\text{年度の総還元性向}(\%) = \frac{(n\text{年度の年間配当金総額}) + (n+1\text{年度の自己株式取得額})}{n\text{年度の親会社株主に帰属する当期純利益}} \times 100$$

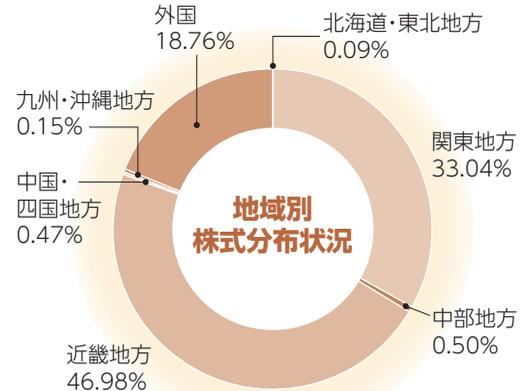
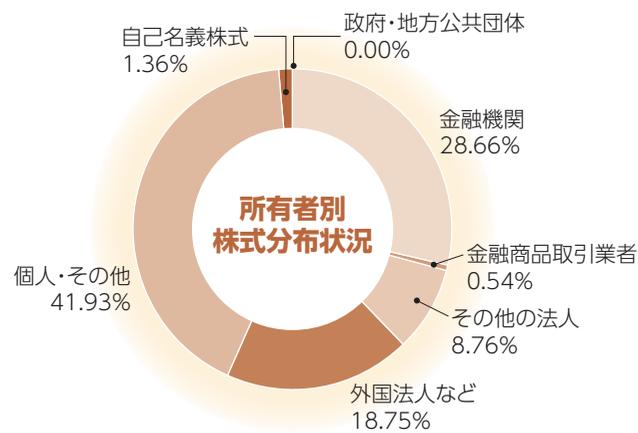
### 中間配当

中間配当金(1株につき17.5円)は、2016年12月1日からお支払いしていますので、「配当金領収証」によりお受け取り下さい。また、銀行などへの口座振込みをご指定の方は、「配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認」のご案内によりお確かめ下さい。

なお、「配当金領収証」により配当金を受け取られる株主様にも「配当金計算書」を送付しています。配当金を受け取られた後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用下さい。



\* 2016年8月1日を効力発生日として株式併合(5株を1株に併合)を実施しました。2015年度以前の1株当たりの配当金は、株式併合を踏まえた換算値です。



**決算期**

3月31日

**定時株主総会**

6月

**基準日**

定時株主総会

権利行使株主確定日 3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

**単元株式数**

100株

**株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関**

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

**同連絡先**

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL.0120-094-777(通話料無料)

**公告方法**

電子公告

(但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載)

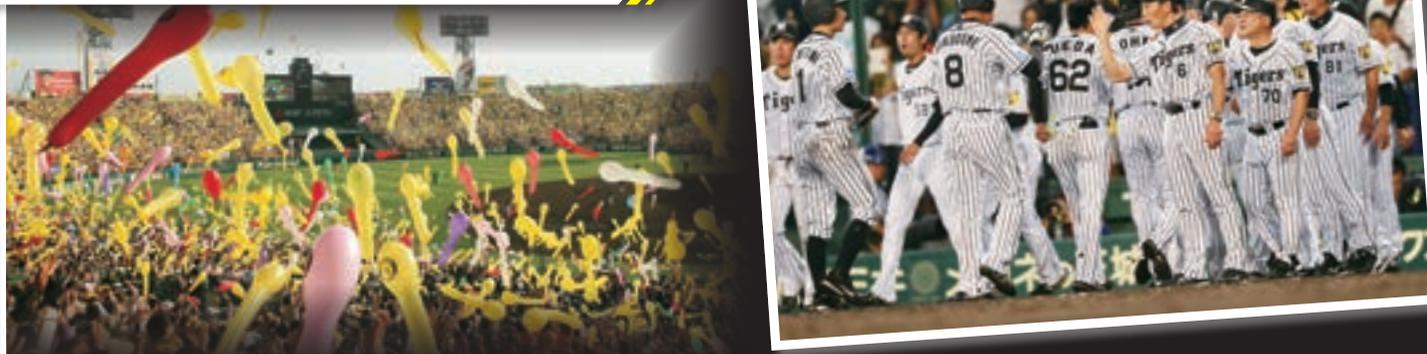
電子公告掲載 URL:<http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/ir/>

**株式のお手続きに関するお問い合わせ先**

手続の内容	株式口座の開設先	証券会社	特別口座(※1)
マイナンバーのお届出(※2)	口座開設先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)	三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
住所変更、単元未満株式買取請求・買増請求などの各種お手続き			
特別口座から証券会社の口座への振替請求	—	—	—

※1 2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式(登録株を含む)につきましては、特別口座で管理されています。  
**特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができます。**三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせ下さい。

※2 2015年10月以降、市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続で必要となるため、株主様から、株式口座開設先の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要があります。マイナンバーのお届出の詳細につきましては、株式口座開設先の証券会社などまでお問い合わせ下さい。



**一年間、ご声援ありがとうございました**

皆さまのご声援をいただき、今シーズンも精一杯戦ってまいりましたが、ファンの皆さまのご期待に応えることができず、結果はレギュラーシーズン4位という悔しい結果に終わりました。来年こそはこの雪辱を果たします。

**努力の生え抜き捕手  
原口 文仁 捕手**

2016年4月に育成選手から支配下選手に登録され、代打で初出場を果たすと、5月は24試合中23試合で先発マスクを被り、リーグトップの打率.380を記録し、攻守でチームに大きく貢献した。そして、セ・リーグの打者部門において5月度の「日本生命月間MVP賞」を初受賞した。タイガースからの受賞は2014年7月度の岩田稔投手以来、打者では2010年8月度の鳥谷敬選手以来であり、打者の育成選手経験者による受賞は両リーグを通じて初となった。今後もさらなる活躍が期待される。  
「今シーズン、育成選手から再び支配下選手に登録していただき、一軍でプレーすることが出来ましたが、これに満足することなく、来シーズンはさらに成長した姿を見ることが出来るように頑張りたいと思います。引き続き応援よろしくお願いします。」

**期待の大型新人!  
高山 俊 外野手**

2015年ドラフトにて、ドラフト1位で阪神タイガースに入団。明治大学在学中、東京六大学の安打記録を塗り替えた好打者で、巧みなバットコントロールに加え、脚力も備えている三拍子揃った選手。一年目の2016年は、セ・リーグの最優秀新人(新人王)に選ばれた。将来は、チームの中軸打者として活躍することが囁かれる。  
「プロ一年目の今シーズンは、毎日が勉強で、毎試合毎試合とにかく必死でした。来シーズンはチームの勝利に貢献できるヒットを一本でも多く打てるように頑張ります。そして、球界を代表する選手になれるようになりたいと思います。」

**「ご声援ありがとうございました」**

阪神タイガース 金本 知憲 監督

「今シーズンも温かいご声援ありがとうございました。4位という悔しい結果に終わりましたが、この悔しさをバネに、この秋からさらにチームを鍛え上げ、来シーズンはリーグ優勝、そして日本一を達成できるよう戦ってまいります。ご声援よろしくお願ひします。」

